

# 学習行動調査報告（2024年度）

## 調査概要

- ・学生の学習に関するレディネスや大学生活への適応を把握する調査。
- ・主に2021-2024年度学習行動調査の比較から、その動向を把握・検討する。
  - ・実施期間：2024年7月5日～8月21日
  - ・調査対象：2024年度学部1～4年生/大学院1～2年生

## 基礎集計

- ・2024年度の回答者（学部）
  - ・有効回答者：1022名
  - ・回答率：83.3%（在籍者1227名）
- ・2024年度の回答者（大学院）
  - ・有効回答者：15名
  - ・回答率：65.2%（在籍者23名）

### ・学科×学年別回答者数

学科	学年				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	
看護学科	118	114	77	103	412
理学療法学科	96	101	105	97	399
作業療法学科	23	33	34	33	123
臨床工学科	20	20	15	33	88
合計	257	268	231	266	1022

### ・研究科×学年別回答者数

研究科	学年		合計
	1年生	2年生	
看護学研究科	1	8	9
健康科学研究科	6	0	6
合計	7	8	15

## 【学部生を対象とした調査結果】

### ・変数ごとの基本統計量（2024年度調査）

変数名	有効N	平均値	中央値	標準偏差	分散	最小値	最大値
成長的マインドセット	1021	3.87	4.00	0.91	0.84	1.00	6.00
自己効力感	1022	3.33	3.33	0.88	0.78	1.00	6.00
内発的動機づけ	1021	3.63	3.67	0.89	0.80	1.00	6.00
外発的動機づけ	1021	4.11	4.00	0.96	0.92	1.00	6.00
メタ認知	1014	4.02	4.00	0.77	0.60	1.00	6.00
主体的学習態度	1006	4.09	4.00	0.70	0.50	1.00	6.00
エージェンシー	1007	3.77	4.00	0.83	0.69	1.00	6.00
適応（友人）	1008	4.62	4.67	0.99	0.97	1.00	6.00
適応（授業）	1009	4.00	4.00	0.90	0.81	1.00	6.00
適応（大学）	1007	3.85	4.00	0.99	0.99	1.00	6.00
適応（教員）	1008	4.17	4.00	1.04	1.09	1.00	6.00
全体的に見て学生生活は充実している。	1001	4.29	4.00	1.09	1.20	1.00	6.00
もし大学を選びなおせたら、またこの大学にもう一度進学したい。	1002	3.66	4.00	1.27	1.61	1.00	6.00
授業外学習時間	1009	3.79	3.00	4.82	23.21	0.00	60.00
授業外読書時間	1009	0.94	0.00	3.17	10.07	0.00	50.00
アルバイト時間	1009	10.45	10.00	8.20	67.19	0.00	60.00

・調査項目と構成概念

調査項目（学習関連）	構成概念
自分の才能は、生まれながらに決まったものではなく、伸ばすことができる。	成長的マインドセット
私の考えでは、才能というものは変えることができるものだと思う。	
学習によって、新しいことがらを学ぶだけでなく、才能も変えていくことができる。	
自分は良い成績をとれる人間だと思う。	自己効力感
授業で示される教材が難しくてもしっかりと理解できると思う。	
授業を通して自分はいまよく学習をすすめられると思う。	
新しいことを学べるように、一段階上へチャレンジさせてくれるような教材を好む。	内発的動機づけ
たとえ難しくても、好奇心をくすぐるような教材を好む。	
良い成績が取れるという保証がなくても、学べることが多い課題を選ぶ。	
現在自分が授業で求めていることはいい成績を取ることだ。	外発的動機づけ
それぞれの科目でいい成績を取ることにもっとも関心がある。	
できるなら他の生徒よりも良い成績を取りたい。	
勉強のやり方が、自分に合っているかどうかを考えながら勉強する。	メタ認知
勉強でわからないところがあったら、勉強のやり方をいろいろ変えてみる。	
勉強しているときに、やった内容を覚えているかどうかを確かめる。	
勉強するときは、最初に計画を立ててから始めている。	
勉強するときは、自分で決めた計画にそっておこなう。	
勉強する前に、これから何をどうやって勉強するかを考える。	
勉強する時、過去に上手くいったやり方を試みている。	主体的学習態度
課されたレポートや課題を少しでも良いものに仕上げようと努力する。	
授業には意欲的に取り組む。	
授業はただぼろっと聞いている。（反転）	エージェンシー
学習をするうえでの自分の目標を決めることができている。	
学習したことを次の活動のために振り返っている。	
学習したことを活かして、責任をもって活動したり、何かを決めたり選んだりしている。	

調査項目（適応関連）	構成概念
この大学には、よい友だちがたくさんいると思う。	適応（友人）
この大学の友達と一緒にいると楽しい。	
この大学の友達とは何でも話ることができると思う。	
この大学の授業を受けるのは楽しい。	適応（授業）
この大学の授業ではやる気がわいてくる。	
この大学では一生懸命授業を受けたいと思う。	
この大学の学生であることを誇りに思う。	適応（大学）
この大学の学生であることがうれしい。	
この大学の学生であることを、強く意識している。	
この大学の教員には安心して相談できると思う。	適応（教員）
この大学では教員と気軽に話ができると思う。	
この大学の教員に対して親しみを感じる。	

## 学部生を対象とした調査結果の概要

### 【特徴的な変化がみられる項目に関して】

#### ・主体的学習態度

主体的学習態度の得点が年々有意に減少していたが、今年度は下げ止まりとなった。

#### ・授業外学習時間、アルバイト時間

授業外学習時間の減少も下げ止まりとなったが、アルバイト時間は依然として年々増加している。

#### ・全体的な学生生活の充実感

「全体的に見て学生生活は充実している」の得点は年々増加しており、2021年度に対し2024年度は有意に高い得点となった。様々な学生支援や教育改善により、コロナ禍を乗り越え、充実した学生生活をおくれるようになってきていると推察される。

### 【追加項目等に関して】

#### ・通学バスの利用状況について

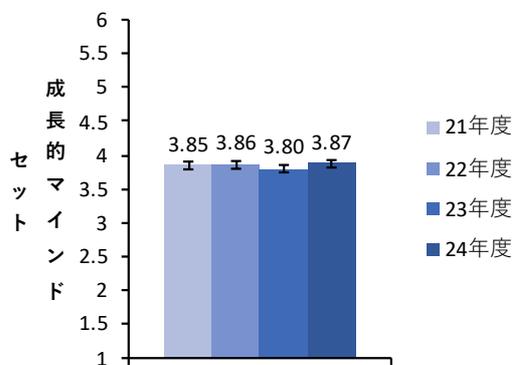
いつも利用しているとの回答が69.8%、事情がある時だけ利用しているとの回答が11.0%、利用していないとの回答が19.2%という割合になった。この割合を在籍者で換算すると、856名がいつも利用しており、136名が事情がある時だけ利用しており、235名が利用していないことになる。

学年別では1～2年生の利用率が高く、学年が上がるごとに利用率が減少していく傾向がみられた。

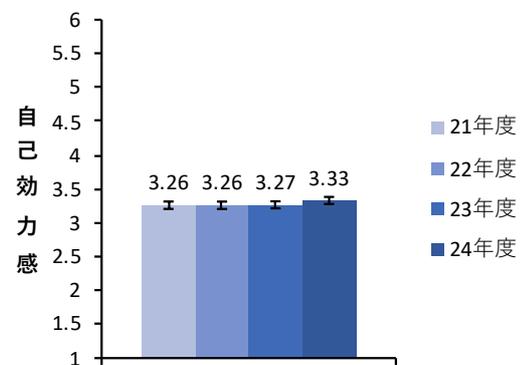
## 学部生を対象とした項目別の調査結果

※特に記載のない場合は6件法（6が肯定的で1～6点に換算）、エラーバーは95%信頼区間を示す。

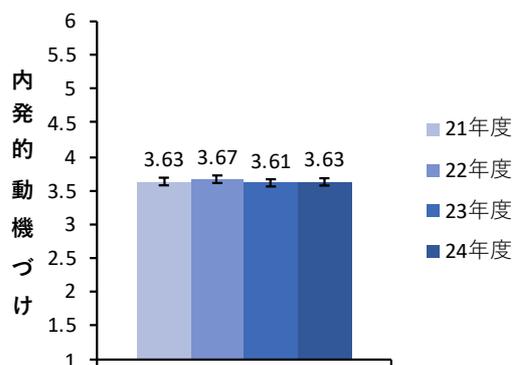
### ・成長的マインドセット



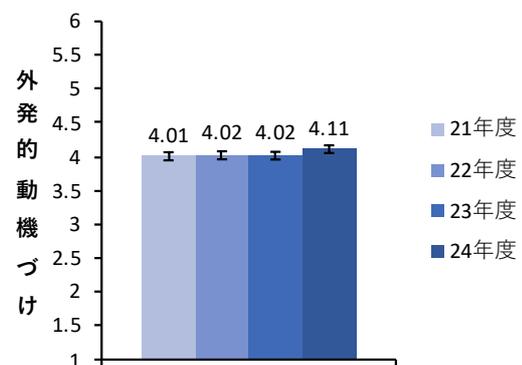
### ・自己効力感



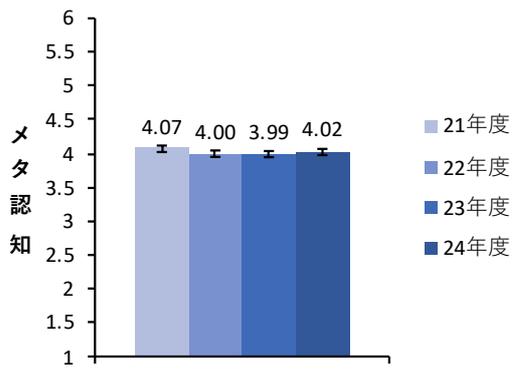
### ・内発的動機づけ



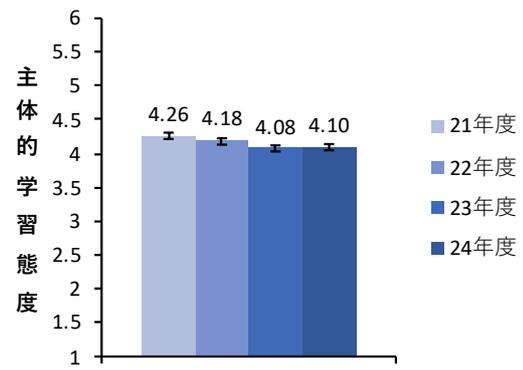
### ・外発的動機づけ



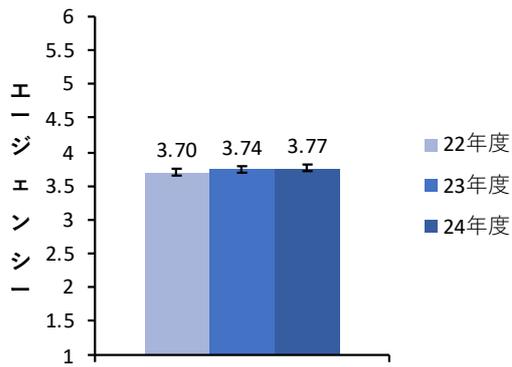
・メタ認知



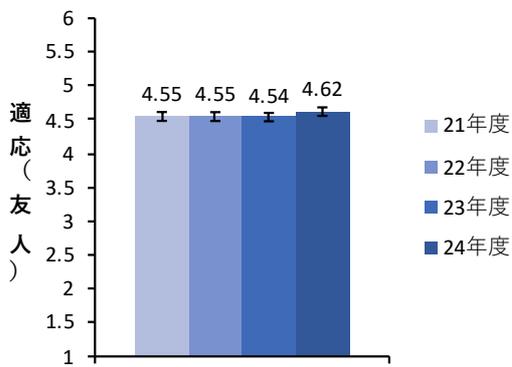
・主体的学習態度



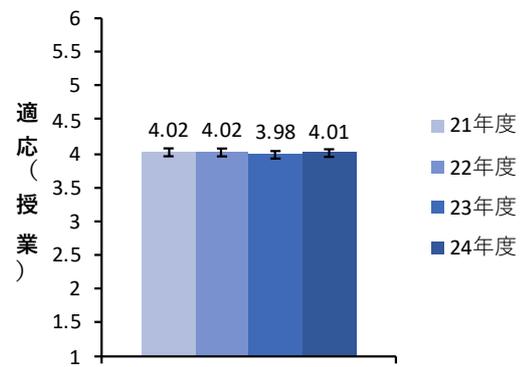
・エージェンシー ※22年度追加項目



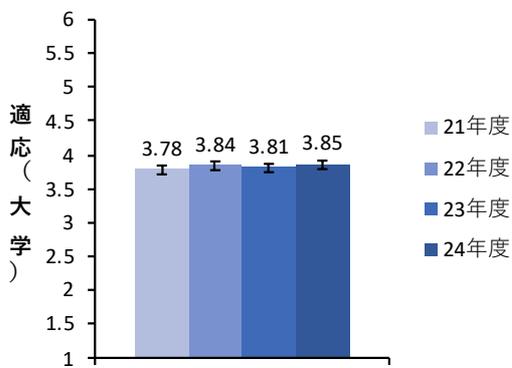
・適応 (友人)



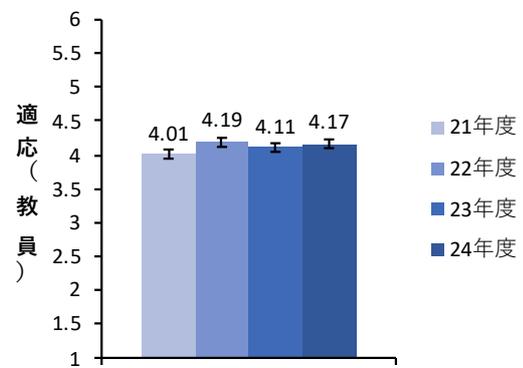
・適応 (授業)



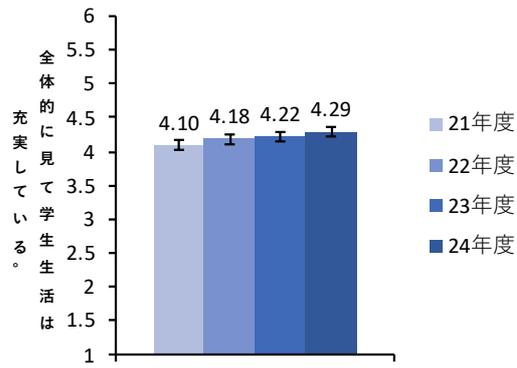
・適応 (大学)



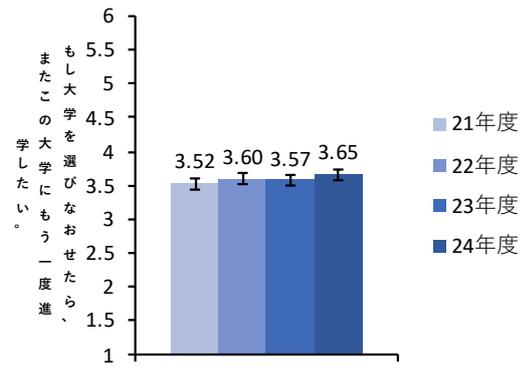
・適応 (教員)



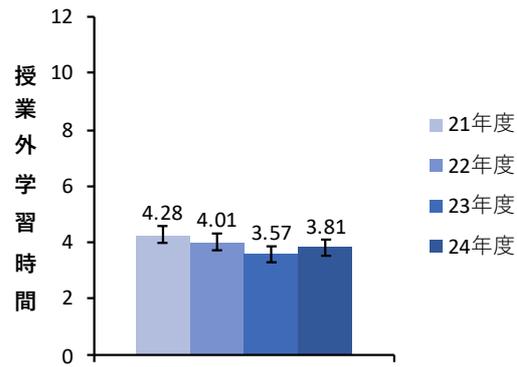
・全体的に見て学生生活は充実している。



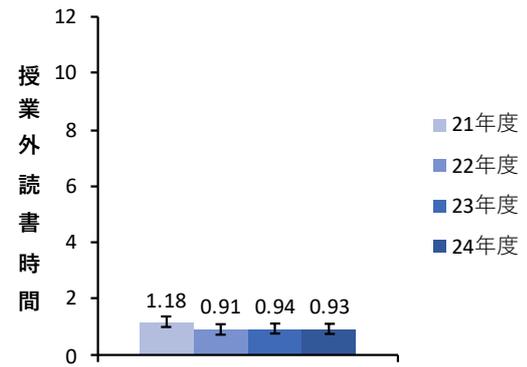
・もし大学を選びなおせたら、またこの大学に…



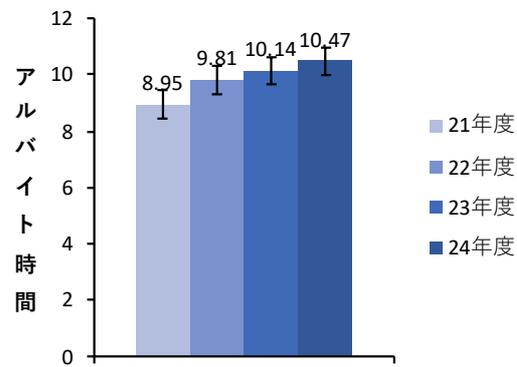
・授業外学習時間 ※週の平均時間を入力



・授業外読書時間 ※週の平均時間を入力



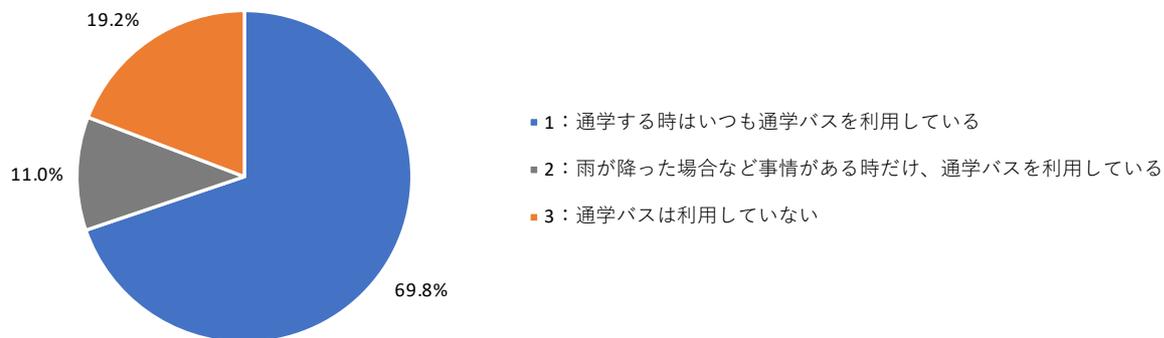
・アルバイト時間 ※週の平均時間を入力



## ・通学バスの利用状況

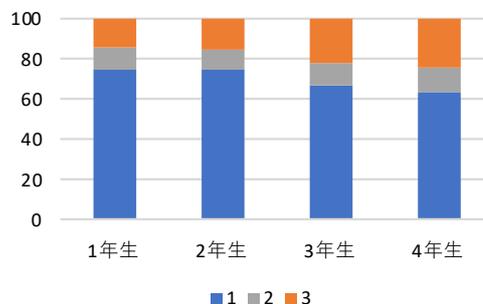
設問内容：藍野大学の通学バスの利用状況について、最も近いものを一つ選んでください。

### 大学全体の割合



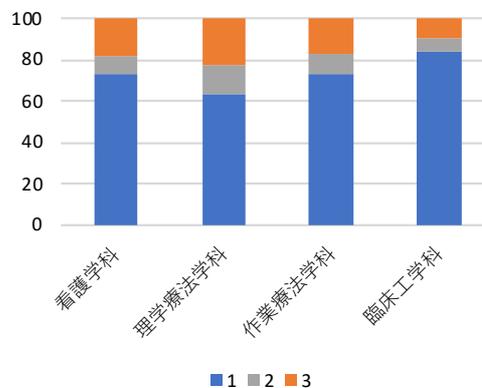
### 学年別の割合 (行ごとの比率%)

	選択肢			合計
	1	2	3	
1年生	74.9	10.8	14.3	100
2年生	74.2	10.2	15.5	100
3年生	66.7	11.0	22.4	100
4年生	62.8	12.3	24.9	100
合計	69.8	11.0	19.2	100



### 学科別の割合 (行ごとの比率%)

	選択肢			合計
	1	2	3	
看護学科	72.5	9.7	17.8	100
理学療法学科	63.1	13.8	23.1	100
作業療法学科	73.3	9.2	17.5	100
臨床工学科	83.5	7.1	9.4	100
合計	69.8	11.0	19.2	100



### 【大学院生を対象とした調査結果】

・変数ごとの基本統計量（2024年度調査）

変数名	有効N	平均値	中央値	標準偏差	分散	最小値	最大値
成長的マインドセット	15	4.02	4.00	0.83	0.69	3.00	6.00
自己効力感	15	2.89	3.00	0.98	0.96	1.00	4.33
内発的動機づけ	15	4.20	4.00	0.79	0.63	2.67	6.00
外発的動機づけ	15	2.36	2.67	0.85	0.72	1.00	3.33
メタ認知	15	4.10	4.00	0.73	0.54	3.14	6.00
主体的学習態度	15	4.47	4.33	0.78	0.62	2.67	6.00
エージェンシー	15	4.24	4.00	0.96	0.93	2.33	6.00
適応（友人）	14	4.83	4.67	0.88	0.78	3.33	6.00
適応（授業）	14	4.67	4.83	0.73	0.53	3.33	6.00
適応（大学）	14	4.02	4.17	1.05	1.10	2.00	6.00
適応（教員）	14	4.43	4.83	1.26	1.60	1.67	6.00
全体的に見て学生生活は充実している。	14	4.71	5.00	0.83	0.68	3.00	6.00
もし大学を選びなせたら、またこの大学にもう一度進学したい。	14	3.79	4.00	1.67	2.80	1.00	6.00
授業外学習時間	14	6.24	5.00	4.09	16.73	0.80	16.00
授業外読書時間	14	3.36	2.00	3.99	15.90	0.00	15.00
アルバイト時間	14	22.96	30.00	19.70	388.25	0.00	45.00

・大学院生を対象とした各調査項目の平均値のグラフ

